

障がい福祉についての意識調査（障がいのある人）

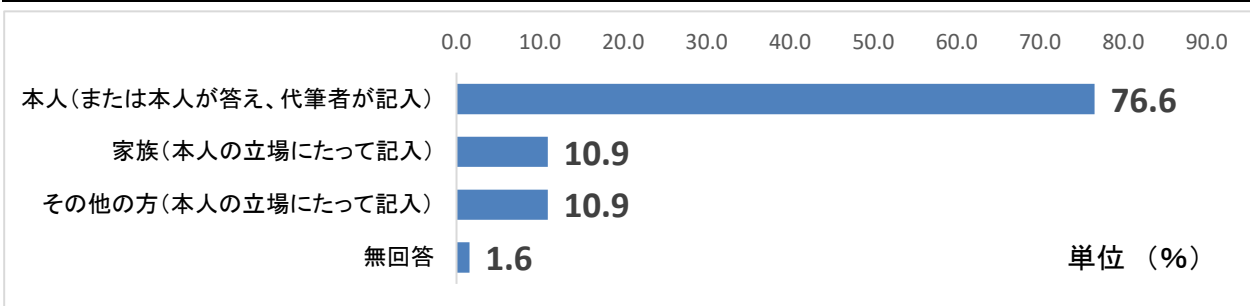
対象者（調査票送付者） 227

回答者（12月15日～ 1月18日受付分） 64

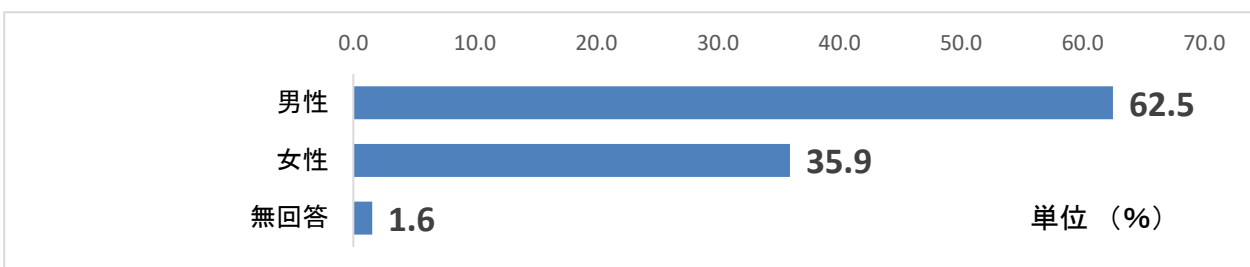
回答率 28.2%

227人の方へ調査票を送付し、64名の方より回答をいただきました。
回答率は28.2%となっています。

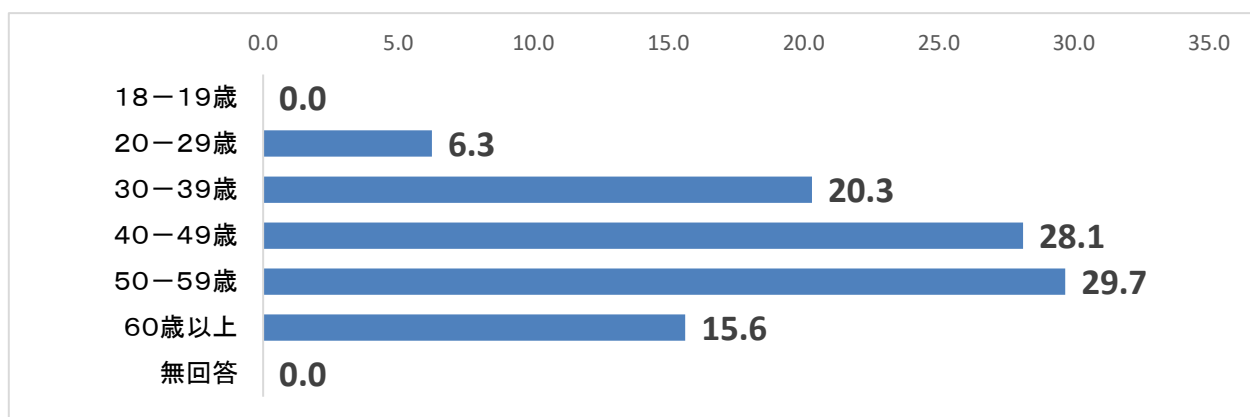
Q 1 お答えいただくのは、どなたですか。 (○はひとつだけ)	件数	割合
1 本人（または本人が答え、代筆者が記入）	49	76.6
2 家族（本人の立場にたって記入）	7	10.9
3 その他の方（本人の立場にたって記入）	7	10.9
無回答	1	1.6
合計	64	100.0



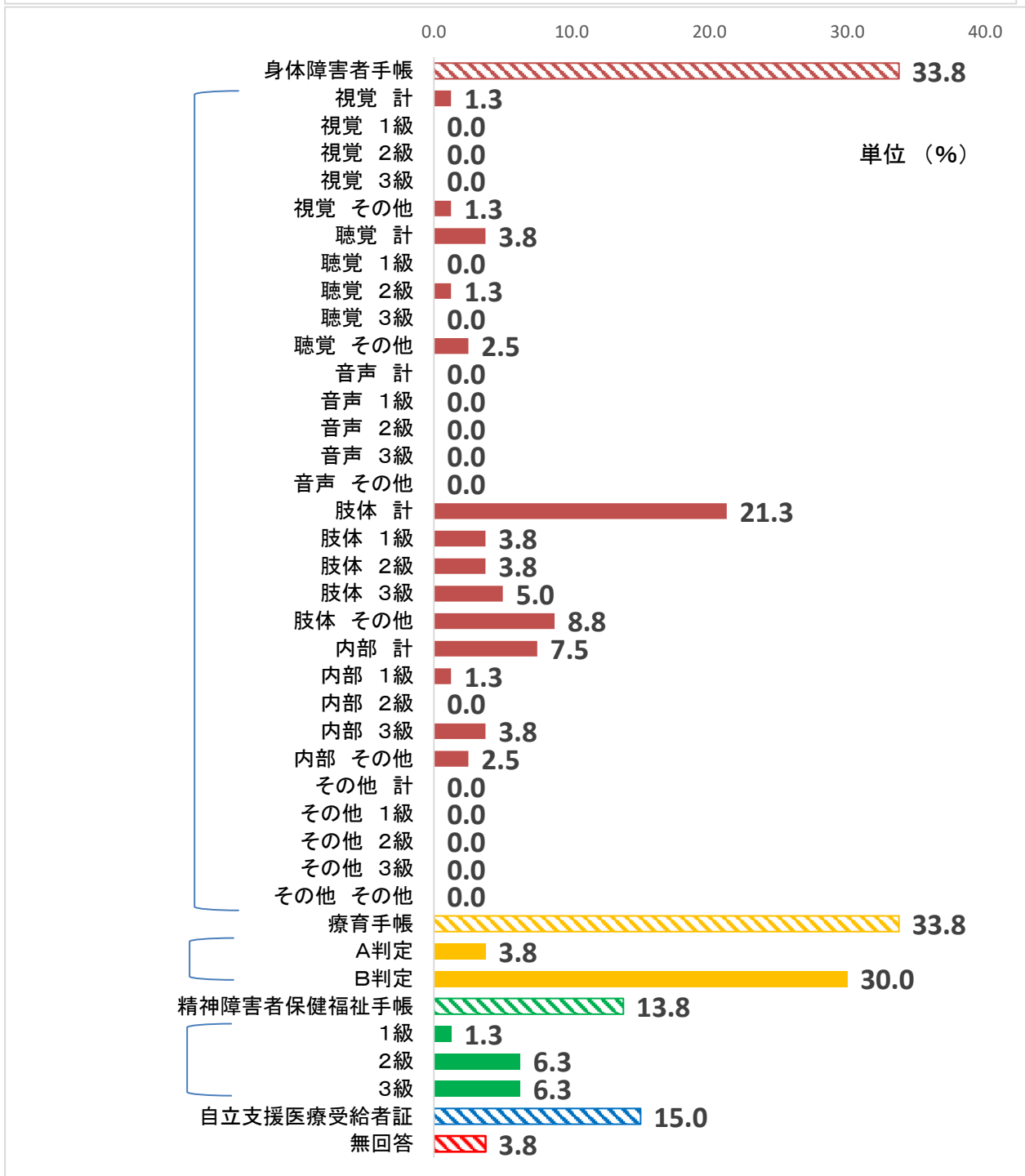
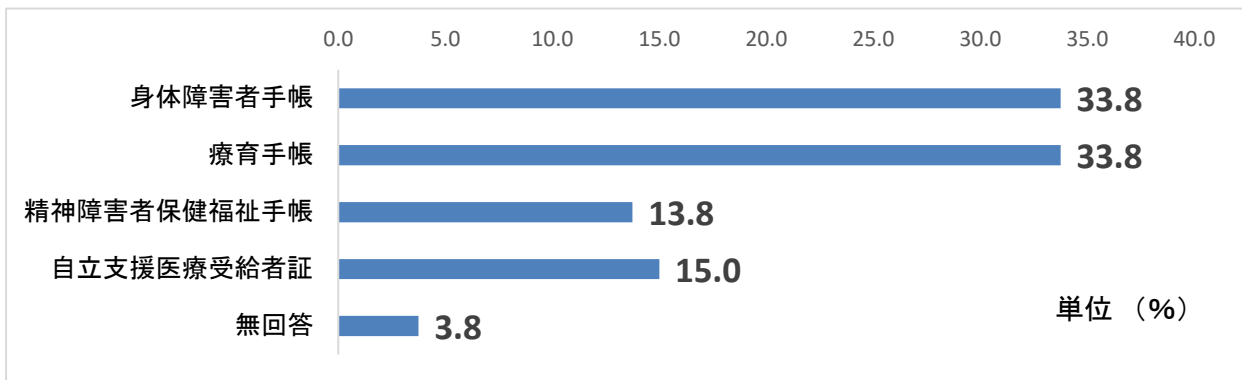
Q 2 あなたの性別はどちらですか。 (○はひとつだけ)	件数	割合
1 男性	40	62.5
2 女性	23	35.9
無回答	1	1.6
合計	64	100.0



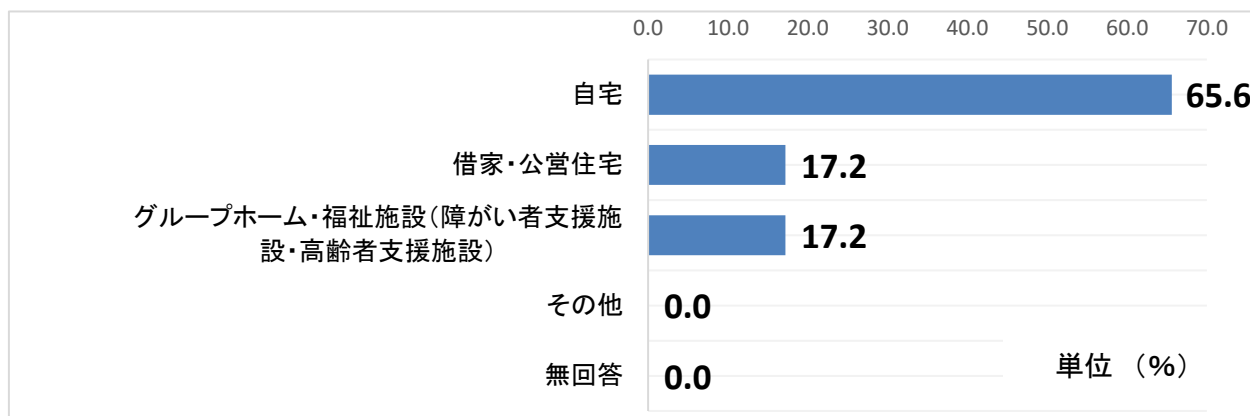
Q 3 年齢は何歳ですか。(令和5年10月1日現在) (〇はひとつだけ)		件数	割合
1	18-19歳	0	0.0
2	20-29歳	4	6.3
3	30-39歳	13	20.3
4	40-49歳	18	28.1
5	50-59歳	19	29.7
6	60歳以上	10	15.6
	無回答	0	0.0
	合計	64	100.0



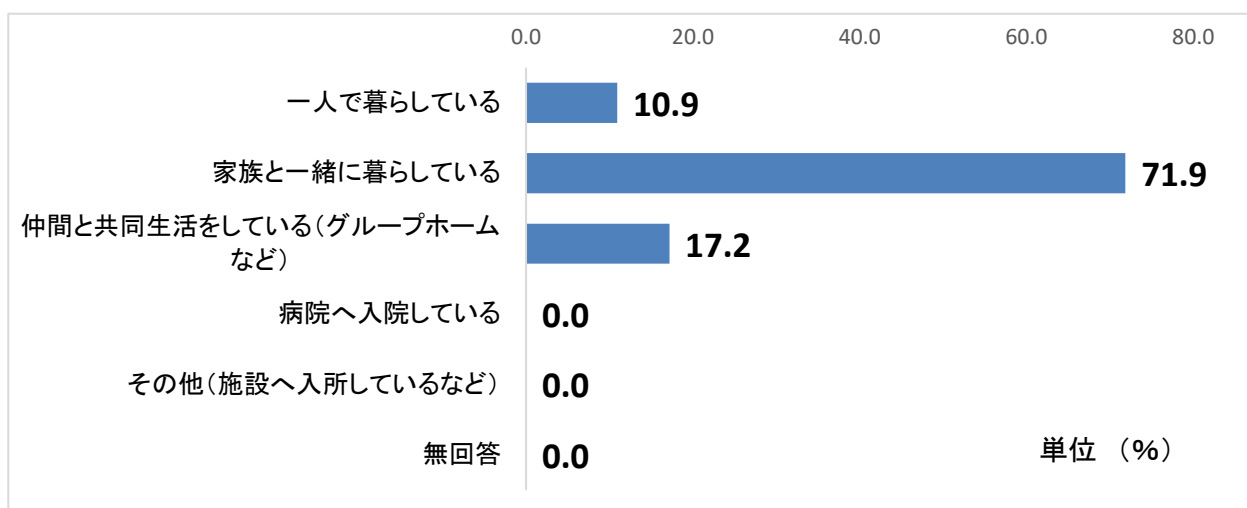
Q 4 お持ちの手帳、受給者証は次のうちどれですか。 (○はあてはまるものすべて)		件数	割合
1	身体障害者手帳	27	33.8
	視覚 計	1	1.3
	視覚 1級	0	0.0
	視覚 2級	0	0.0
	視覚 3級	0	0.0
	視覚 その他	1	1.3
	聴覚 計	3	3.8
	聴覚 1級	0	0.0
	聴覚 2級	1	1.3
	聴覚 3級	0	0.0
	聴覚 その他	2	2.5
	音声 計	0	0.0
	音声 1級	0	0.0
	音声 2級	0	0.0
	音声 3級	0	0.0
	音声 その他	0	0.0
	肢体 計	17	21.3
	肢体 1級	3	3.8
	肢体 2級	3	3.8
	肢体 3級	4	5.0
	肢体 その他	7	8.8
	内部 計	6	7.5
	内部 1級	1	1.3
	内部 2級	0	0.0
	内部 3級	3	3.8
	内部 その他	2	2.5
	その他 計	0	0.0
	その他 1級	0	0.0
	その他 2級	0	0.0
	その他 3級	0	0.0
	その他 その他	0	0.0
2	療育手帳	27	33.8
	A判定	3	3.8
	B判定	24	30.0
3	精神障害者保健福祉手帳	11	13.8
	1級	1	1.3
	2級	5	6.3
	3級	5	6.3
4	自立支援医療受給者証	12	15.0
	無回答	3	3.8
	合計	80	100.0



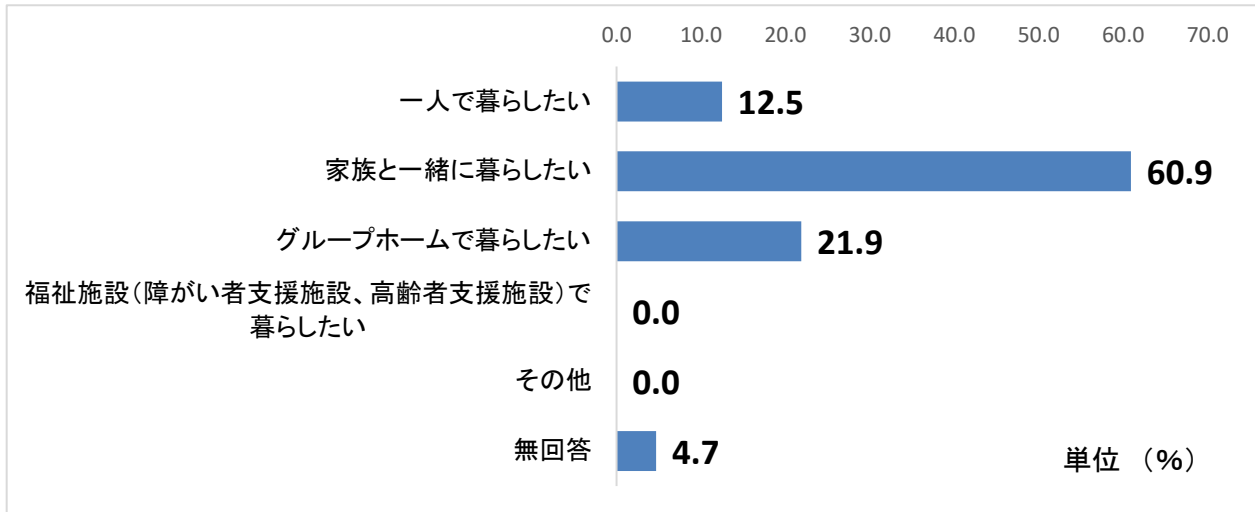
Q 5 あなたは、どこで生活をしていますか。 (○はひとつだけ)		件数	割合
1	自宅	42	65.6
2	借家・公営住宅	11	17.2
3	グループホーム・福祉施設（障がい者支援施設・高齢者支援施設）	11	17.2
4	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
合計		64	100.0



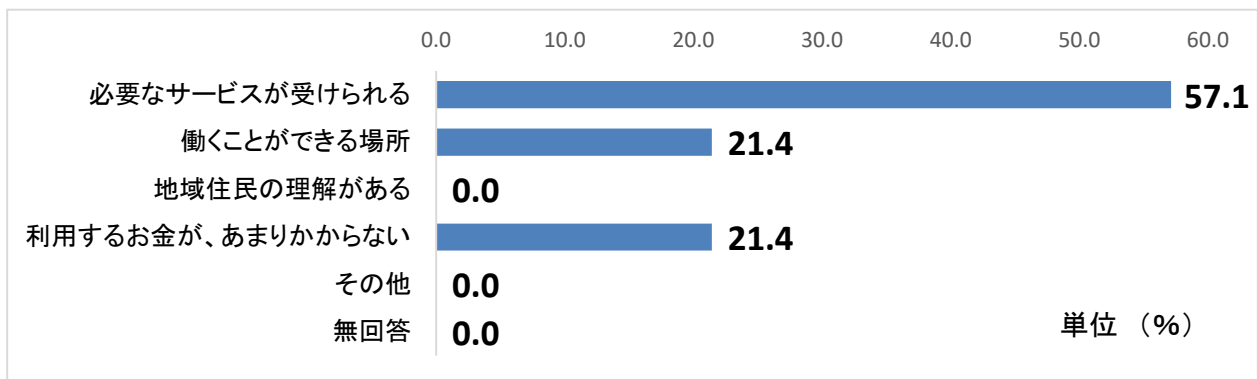
Q 6 あなたは、現在どのように暮らしていますか。 (○はひとつだけ)		件数	割合
1	一人で暮らしている	7	10.9
2	家族と一緒に暮らしている	46	71.9
3	仲間と共同生活をしている（グループホームなど）	11	17.2
4	病院へ入院している	0	0.0
5	その他（施設へ入所しているなど）	0	0.0
	無回答	0	0.0
合計		64	100.0



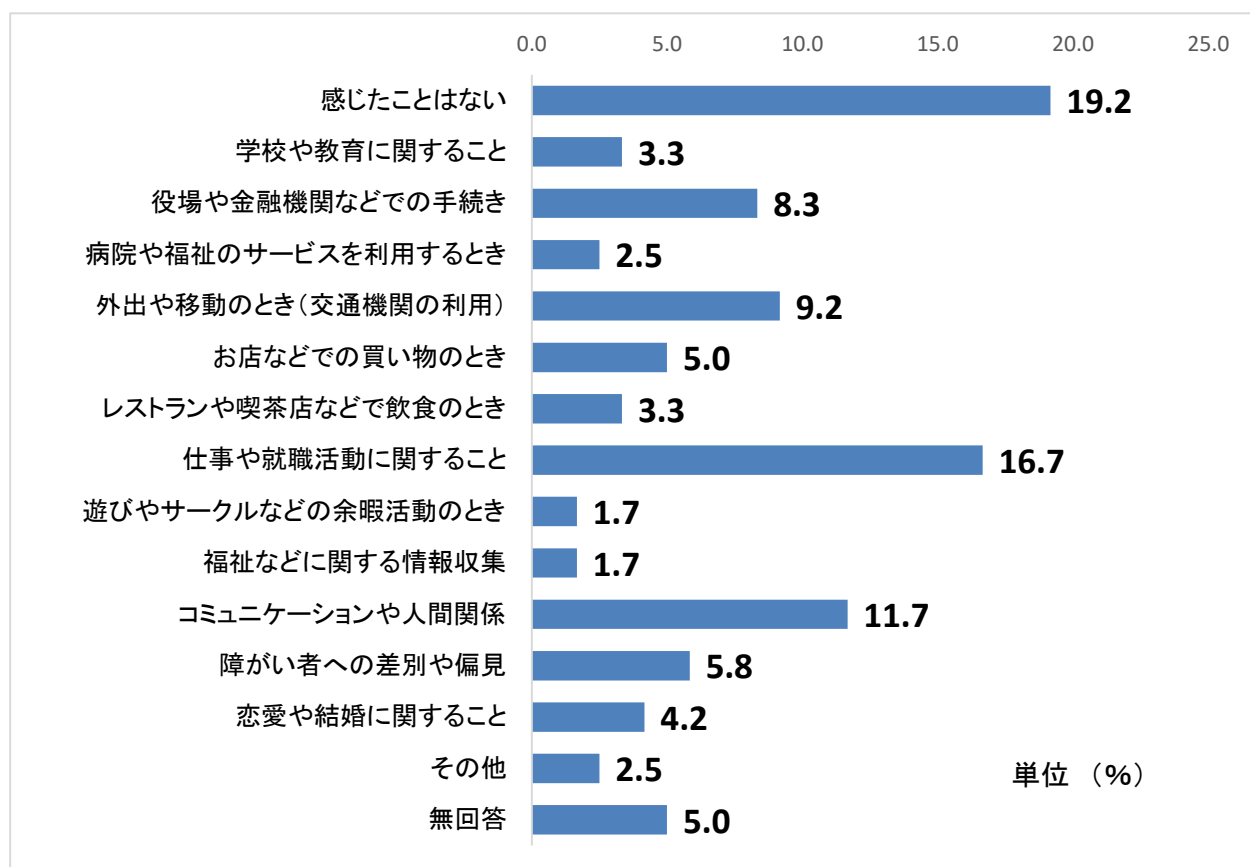
Q	7 あなたは、今後3年以内に、どのような暮らしをしたい と思いますか。(○はひとつだけ)	件数	割合
1	一人で暮らしたい	8	12.5
2	家族と一緒に暮らしたい	39	60.9
3	グループホームで暮らしたい	14	21.9
4	福祉施設(障がい者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしたい	0	0.0
5	その他	0	0.0
	無回答	3	4.7
	合計	64	100.0



Q	8 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があれば よいと思いますか。(○はひとつだけ)	件数	割合
1	必要なサービスが受けられる	8	57.1
2	働くことができる場所	3	21.4
3	地域住民の理解がある	0	0.0
4	利用するお金が、あまりかからない	3	21.4
5	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	14	100.0



Q	9 これまで、どんなときに（どんなことで）生きづらさを感じたことがありますか。（〇は3つまで）	件数	割合
1	感じたことはない	23	19.2
2	学校や教育に関すること	4	3.3
3	役場や金融機関などでの手続き	10	8.3
4	病院や福祉のサービスを利用するとき	3	2.5
5	外出や移動のとき（交通機関の利用）	11	9.2
6	お店などでの買い物のとき	6	5.0
7	レストランや喫茶店などで飲食のとき	4	3.3
8	仕事や就職活動に関すること	20	16.7
9	遊びやサークルなどの余暇活動のとき	2	1.7
10	福祉などに関する情報収集	2	1.7
11	コミュニケーションや人間関係	14	11.7
12	障がい者への差別や偏見	7	5.8
13	恋愛や結婚に関すること	5	4.2
14	その他	3	2.5
	無回答	6	5.0
	合計	120	100.0



問9 その他

- 50代 男性『普通に生活していて感じる』
- 60代 女性『親』
- 30代 男性『各種保険に入りにくい』

Q 10 生きづらさを感じた状況について、具体的に教えてください。（自由回答）

30代 男性『うまくしゃべれない』

20代 男性『家族と外出している時に、周りの目がこわかった』

20代 女性『仕事場で出来ることと、出来ないことがあるのに、勝手に「できる」と判断されること』

50代 男性『何もすることがない』

40代 男性『学校では、いじめられました。車が乗れないから、電車かバスになりますので、遅れたりすると1時間は待たないと、次の電車がなかったりすると、よく遅れたりもするので、バスが走ってくれるようになり、だいぶ変わりました。仕事では、人間関係が上手くいきませんでした。

病院でも対話が上手くできず、苦労します。言われたことも、すぐ忘れるというか、頭から抜けてしまうので、電話の応答等もなんて言ったらいいかわからず、まず上手く話せません。たけど、行き帰り1本しかないのが、正直つらいです』

40代 女性『体の病気と精神の病気で、仕事ができるか不安になります』

30代 男性『通院の時の移動時に、トイレに行きたくなる』

60代 女性『保険に加入できなかった』

40代 男性『仕事の出来栄を、かげで言われる時』

40代 男性『彼女ができない』

30代 男性『いつかは何でも自分でやらなきゃいけないから』

40代 男性『足が悪いから装具の申請をしているのに、装具が壊れて申請をした時に渋々申請手続きをされました。

私はわざと壊しているわけではないのに、なぜすぐにスムーズに手続きや申請が通らないのかわかりません。障害者だから馬鹿にしているのか？こんな身体の人気持ち等知る必要がないと思っているのか？

もうこの足はなおることがないので、すぐに手続きしたら申請がおりてほしいです』

40代 男性『仕事場での、人とのつきあい方』

30代 女性『「名前を呼ばれるのを待つような状況」「団体で説明を受ける状況」「会議など広い場所で発言を聞きとる状況」すべて聴覚でのコミュニケーションになるため。

最近番号が表示されるなど視覚で気づける病院が増えたので、減りつつあるが「聞こえない怖さ」で、そういう状況は避けている。恋愛や結婚については、相手が子どもありきの考えだったら、聴覚の遺伝を考えなければ…などマイナスに考えてしまうので避けている』

60代 男性『親の面倒を見なくてはいけない時』

30代 男性『働きたい意欲はありますが、まだ働ける状況ではない』

30代 女性『話が聞きとりにくい。相手に伝わらない。（マスク越しの会話が難しい）電車に乗った時、どこに停まったのか、わかりにくい時がある。（ホームが変わった時のアナウンスも聞き取れない）』

50代 男性『手続きが、面倒くさい』

40代 男性『お金がないので不安。事業所に通っていますが、少ない金額』

30代 男性『移動や外出について… 事前に車椅子利用などを告げないと、嫌な顔をされる』

40代 女性『頭やお腹の調子。身体の硬直。歩くと息苦しい。階段ののぼりあがりです』

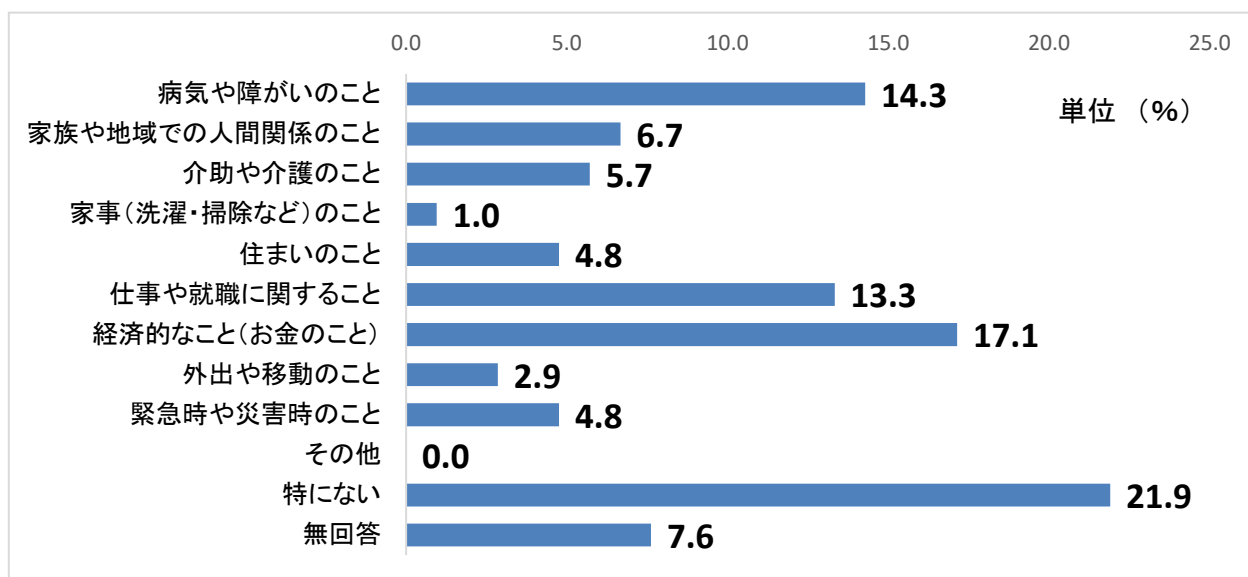
30代 女性『釧路から引っ越しをしてから、本人に合う仕事がない』

40代 男性『仕事においては健常者が普通にできることが、当方には非常に難しいこと。思考回路が健常者と異なるため、会話等においては的外れな返答をすることが多く、また「相手の発言を即座にイメージに変換できない」「自分の意思を伝えるのに必要な言葉や文章がすぐに出てこない」等、コミュニケーションにおいて著しく難があるため「普通に」生きることが、とても難しい』

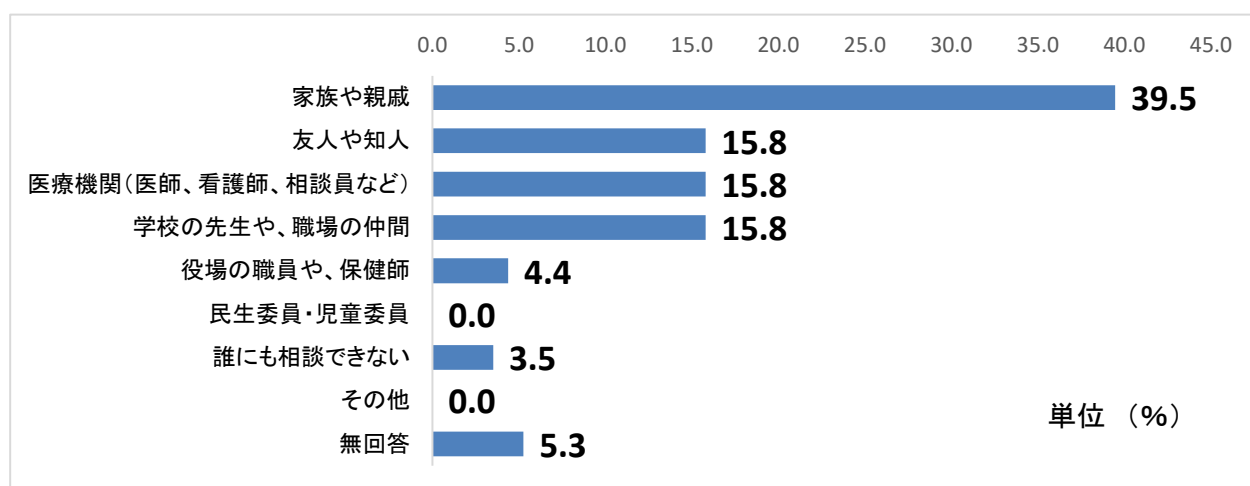
30代 女性『若年層が活動できる場所が少ないと思う』

20代 女性『働きたいのに、働けない（理解のある職場に出会えない）』

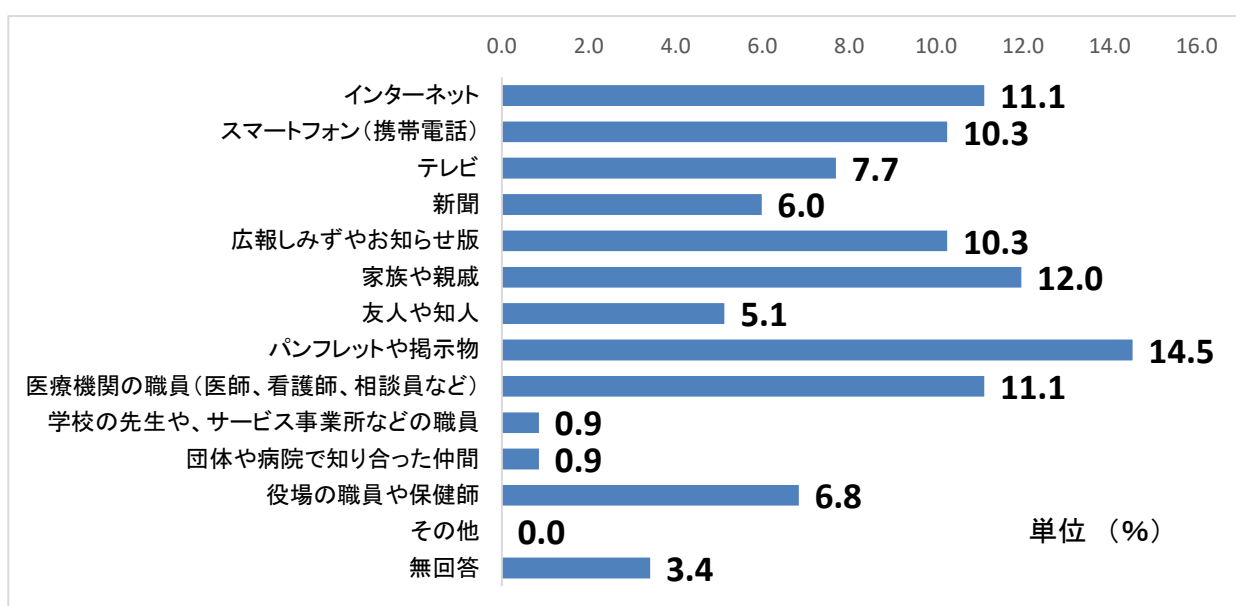
Q	11 あなたは、現在悩んでいることや、相談したいことがありますか。（〇は3つまで）	件数	割合
1	病気や障がいのこと	15	14.3
2	家族や地域での人間関係のこと	7	6.7
3	介助や介護のこと	6	5.7
4	家事（洗濯・掃除など）のこと	1	1.0
5	住まいのこと	5	4.8
6	仕事や就職に関すること	14	13.3
7	経済的なこと（お金のこと）	18	17.1
8	外出や移動のこと	3	2.9
9	緊急時や災害時のこと	5	4.8
10	その他	0	0.0
11	特にない	23	21.9
	無回答	8	7.6
	合計	105	100.0



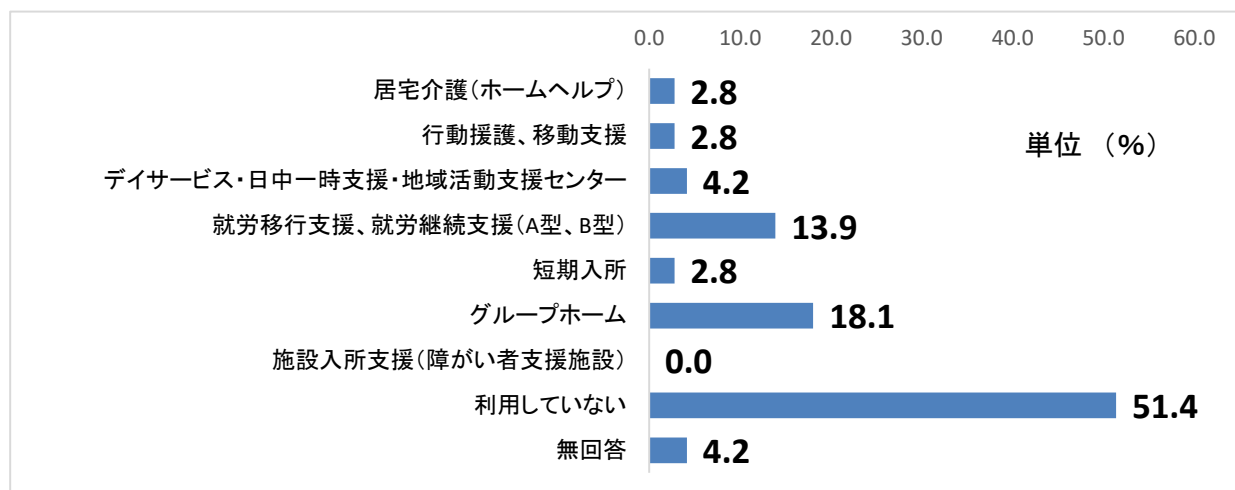
Q	12 あなたが、悩んでいることを相談する相手は誰 (どこ)ですか。(〇はいくつでも)	件数	割合
1	家族や親戚	45	39.5
2	友人や知人	18	15.8
3	医療機関(医師、看護師、相談員など)	18	15.8
4	学校の先生や、職場の仲間	18	15.8
5	役場の職員や、保健師	5	4.4
6	民生委員・児童委員	0	0.0
7	誰にも相談できない	4	3.5
8	その他	0	0.0
	無回答	6	5.3
	合計	114	100.0



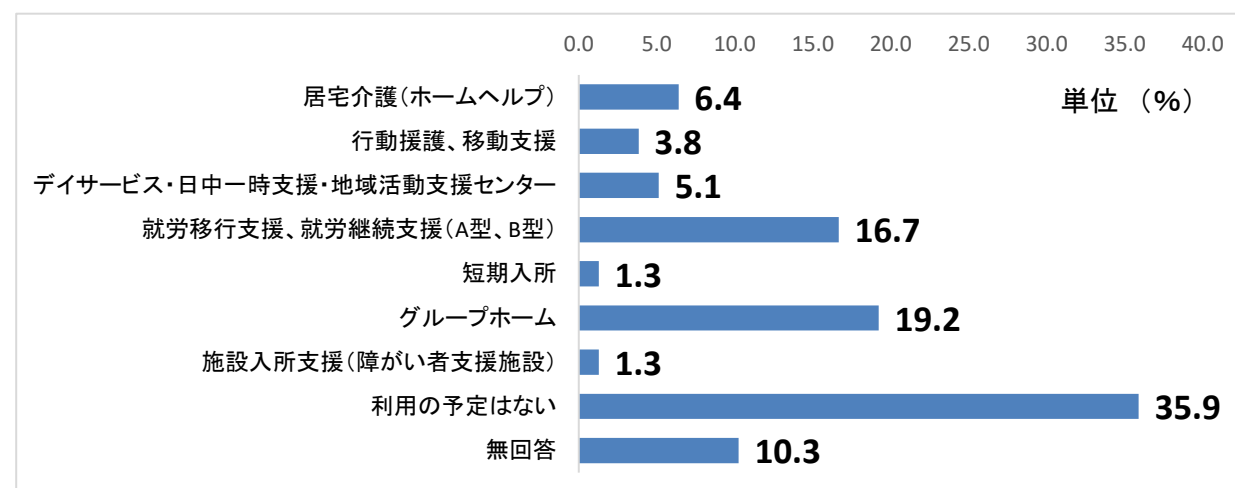
Q	13 あなたは、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。(〇は3つまで)	件数	割合
1	インターネット	13	11.1
2	スマートフォン(携帯電話)	12	10.3
3	テレビ	9	7.7
4	新聞	7	6.0
5	広報しみずやお知らせ版	12	10.3
6	家族や親戚	14	12.0
7	友人や知人	6	5.1
8	パンフレットや掲示物	17	14.5
9	医療機関の職員(医師、看護師、相談員など)	13	11.1
10	学校の先生や、サービス事業所などの職員	1	0.9
11	団体や病院で知り合った仲間	1	0.9
12	役場の職員や保健師	8	6.8
13	その他	0	0.0
	無回答	4	3.4
	合計	117	100.0



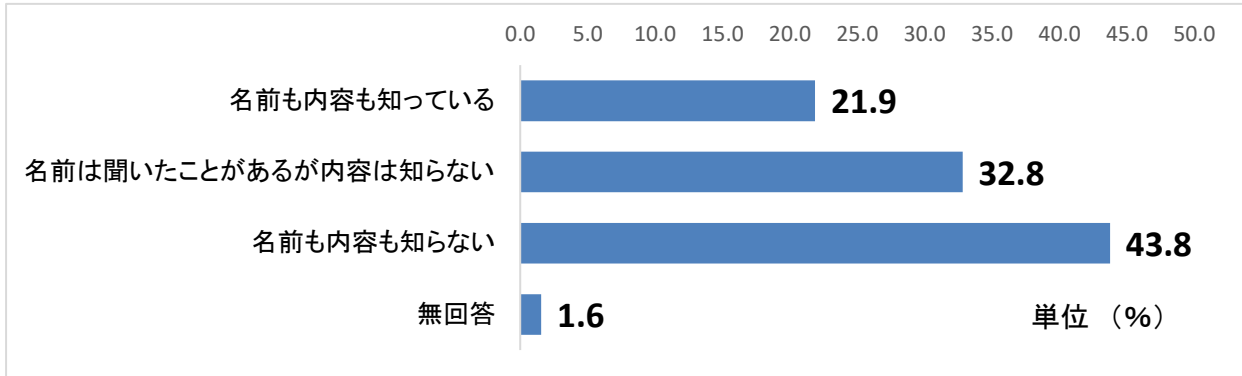
Q	14 あなたは、どのサービスを利用していますか。 (○はいくつでも)	件数	割合
1	居宅介護（ホームヘルプ）	2	2.8
2	行動援護、移動支援	2	2.8
3	デイサービス・日中一時支援・地域活動支援センター	3	4.2
4	就労移行支援、就労継続支援（A型、B型）	10	13.9
5	短期入所	2	2.8
6	グループホーム	13	18.1
7	施設入所支援（障がい者支援施設）	0	0.0
8	利用していない	37	51.4
	無回答	3	4.2
	合計	72	100.0



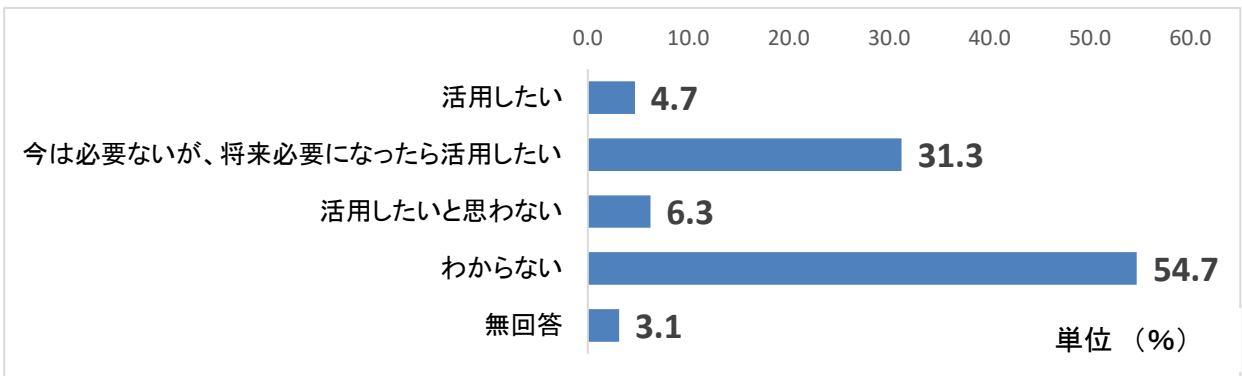
Q	15 あなたは、今後どのサービスを利用したいと思いますか。 (○は3つまで)	件数	割合
1	居宅介護（ホームヘルプ）	5	6.4
2	行動援護、移動支援	3	3.8
3	デイサービス・日中一時支援・地域活動支援センター	4	5.1
4	就労移行支援、就労継続支援（A型、B型）	13	16.7
5	短期入所	1	1.3
6	グループホーム	15	19.2
7	施設入所支援（障がい者支援施設）	1	1.3
8	利用の予定はない	28	35.9
	無回答	8	10.3
	合計	78	100.0



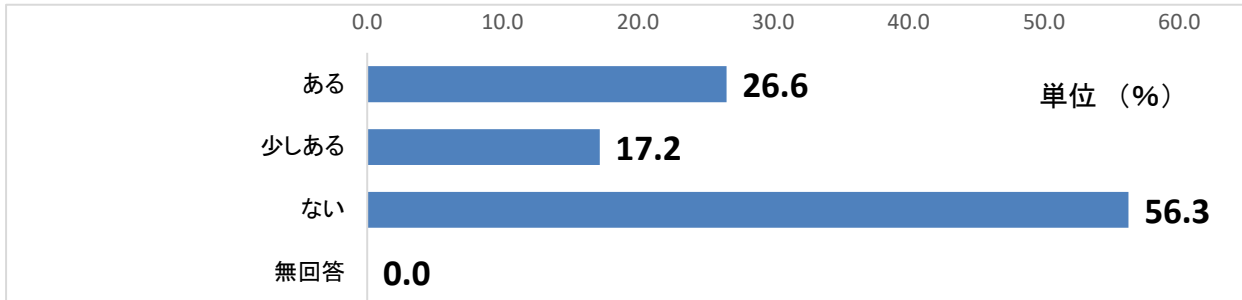
16 成年後見制度とは、知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。 Q あなたは、成年後見制度について知っていましたか。 (○はひとつだけ)		件数	割合
1	名前も内容も知っている	14	21.9
2	名前は聞いたことがあるが内容は知らない	21	32.8
3	名前も内容も知らない	28	43.8
	無回答	1	1.6
合計		64	100.0



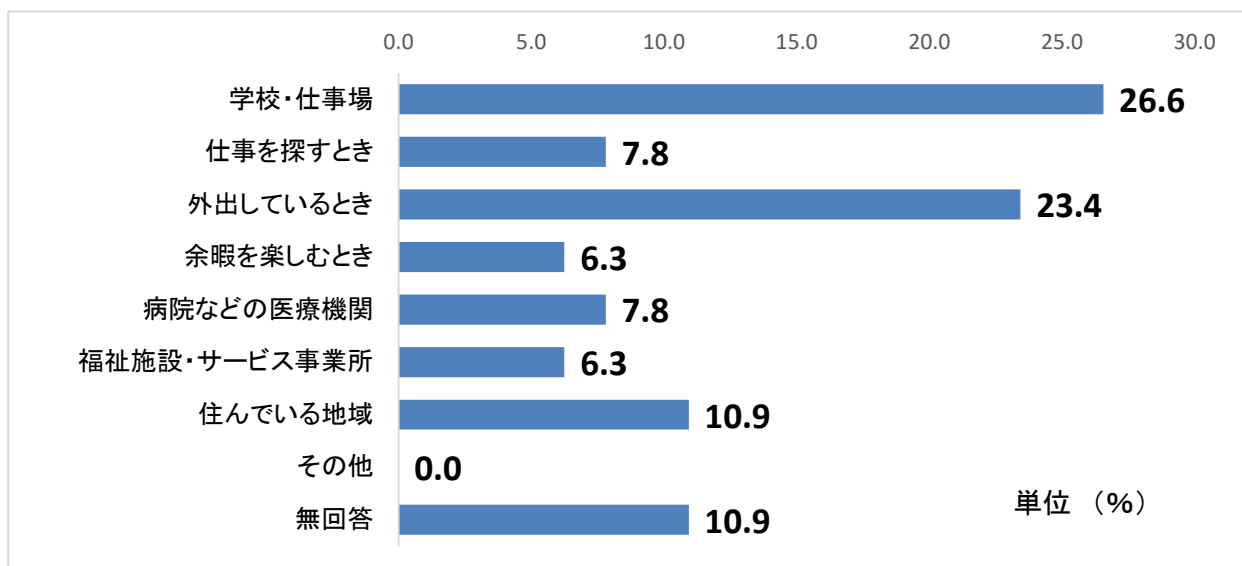
17 あなたは成年後見制度を活用したいと思いますか。 Q (○はひとつだけ)		件数	割合
1	活用したい	3	4.7
2	今は必要ないが、将来必要になったら活用したい	20	31.3
3	活用したいと思わない	4	6.3
4	わからない	35	54.7
	無回答	2	3.1
合計		64	100.0



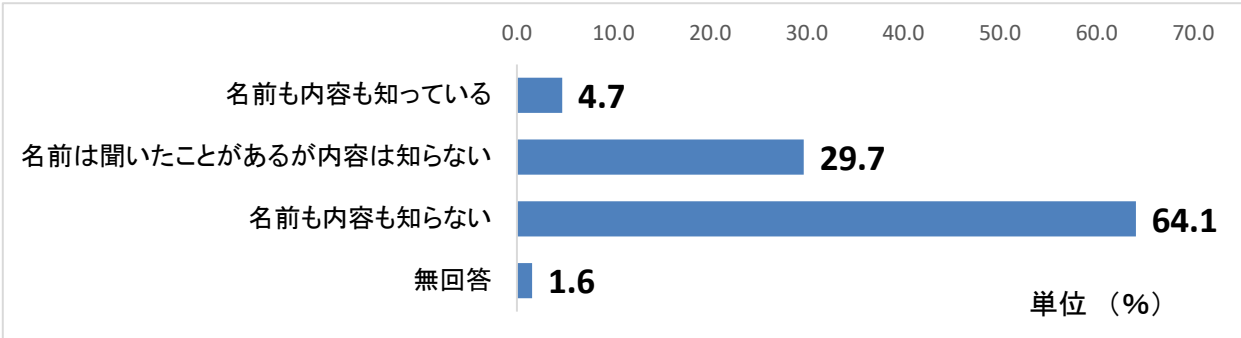
Q 18 あなたは、障がいがあることで、差別や嫌な思いをしたことがありますか。（○はひとつだけ）		件数	割合
1	ある	17	26.6
2	少しある	11	17.2
3	ない	36	56.3
	無回答	0	0.0
合計		64	100.0



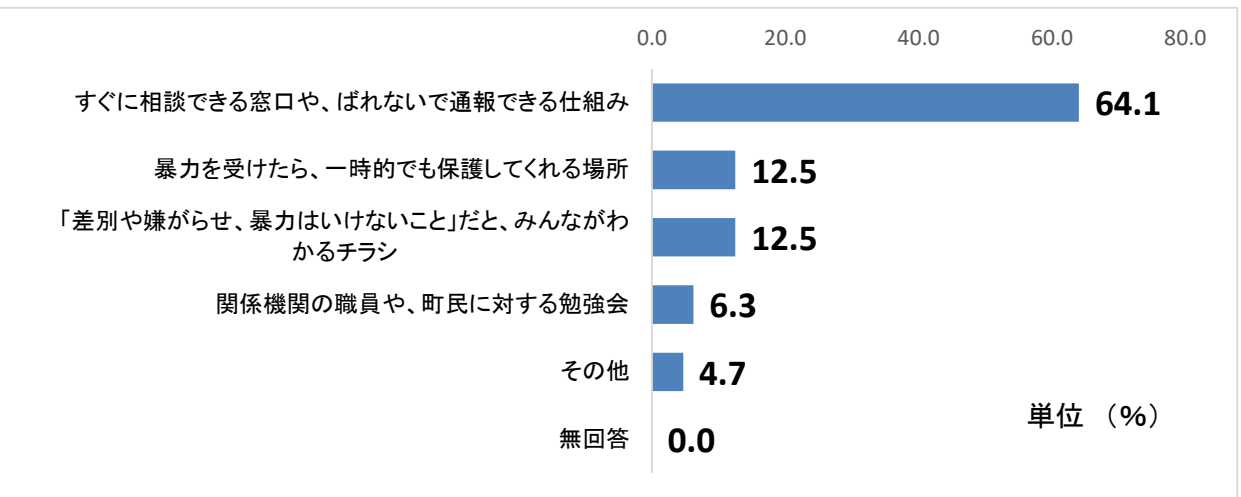
Q 19 問18で「1ある」又は「2少しある」と答えた方に質問します。 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。 (○はいくつでも)		件数	割合
1	学校・仕事場	17	26.6
2	仕事を探すとき	5	7.8
3	外出しているとき	15	23.4
4	余暇を楽しむとき	4	6.3
5	病院などの医療機関	5	7.8
6	福祉施設・サービス事業所	4	6.3
7	住んでいる地域	7	10.9
8	その他	0	0.0
	無回答	7	10.9
合計		64	100.0



Q	20 平成28年4月1日から施行されている「障害者差別 解消法」についてご存じですか。(○はひとつだけ)	件数	割合
1	名前も内容も知っている	3	4.7
2	名前は聞いたことがあるが内容は知らない	19	29.7
3	名前も内容も知らない	41	64.1
	無回答	1	1.6
	合計	64	100.0



Q	21 あなたは、障がいがあることによる差別や嫌がらせ、暴力 などをなくすために、どのようなことがもっとも必要だと思いますか。(○はひとつだけ)	件数	割合
1	すぐに相談できる窓口や、ばれないで通報できる仕組み	41	64.1
2	暴力を受けたら、一時的でも保護してくれる場所	8	12.5
3	「差別や嫌がらせ、暴力はいけないこと」だと、みんながわかるチラシ	8	12.5
4	関係機関の職員や、町民に対する勉強会	4	6.3
5	その他	3	4.7
	無回答	0	0.0
	合計	64	100.0



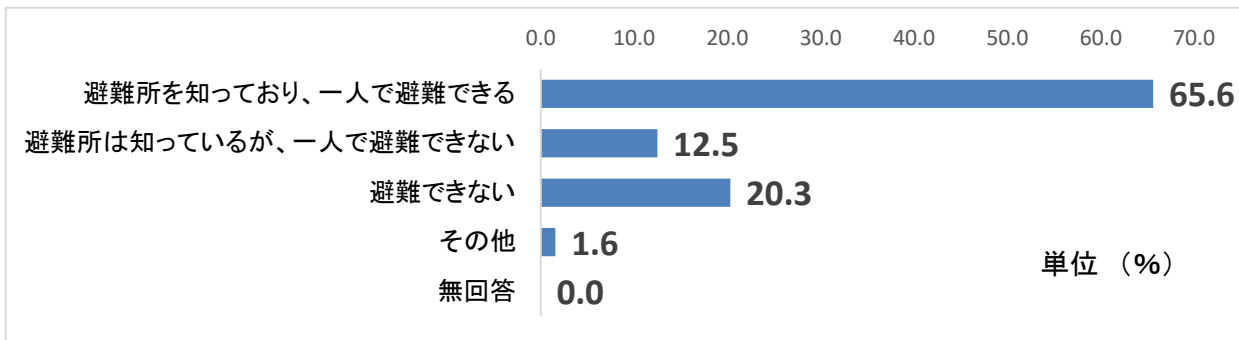
問21 その他

30代 女性『関わる周りの方の認識が必要だと思います』

40代 男性『皆の意思がないと、どんなことしても変わらないと思った』

30代 女性『健常な方への、障がいに対する理解』

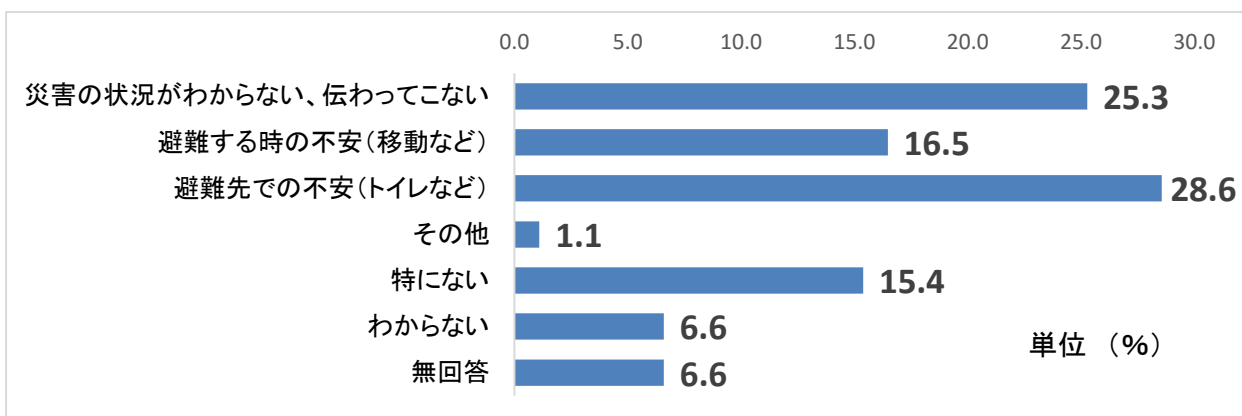
Q	22 災害が起こった時、あなたは一人で避難できますか。 (○はひとつだけ)	件数	割合
1	避難所を知っており、一人で避難できる	42	65.6
2	避難所は知っているが、一人で避難できない	8	12.5
3	避難できない	13	20.3
4	その他	1	1.6
	無回答	0	0.0
	合計	64	100.0



問22 その他

50代 男性『わからない』

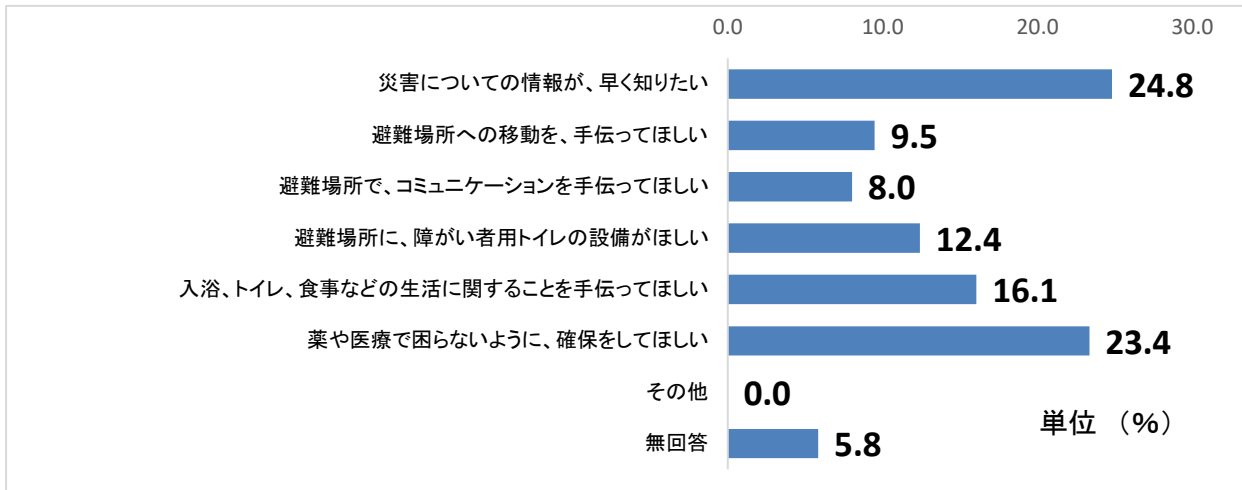
Q	23 災害が起こった時に、困ることはなんですか。 (○はいくつでも)	件数	割合
1	災害の状況がわからない、伝わってこない	23	25.3
2	避難する時の不安(移動など)	15	16.5
3	避難先での不安(トイレなど)	26	28.6
4	その他	1	1.1
5	特にない	14	15.4
6	わからない	6	6.6
	無回答	6	6.6
	合計	91	100.0



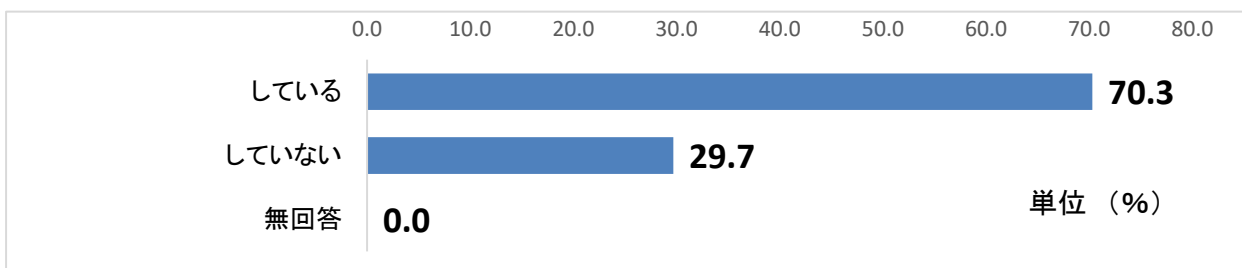
問23 その他

30代 男性『服薬』

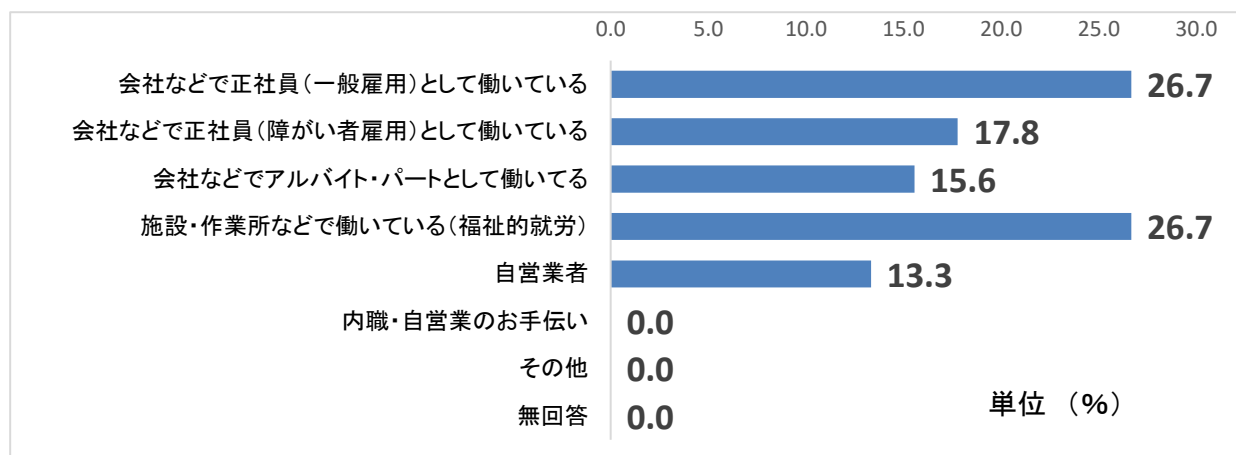
Q	24 もし災害が起こった時、あなたが必要とすることは どれですか。(○はいくつでも)	件数	割合
1	災害についての情報が、早く知りたい	34	24.8
2	避難場所への移動を、手伝ってほしい	13	9.5
3	避難場所で、コミュニケーションを手伝ってほしい	11	8.0
4	避難場所に、障がい者用トイレの設備がほしい	17	12.4
5	入浴、トイレ、食事などの生活に関することを手伝ってほしい	22	16.1
6	薬や医療で困らないように、確保をしてほしい	32	23.4
7	その他	0	0.0
	無回答	8	5.8
	合計	137	100.0



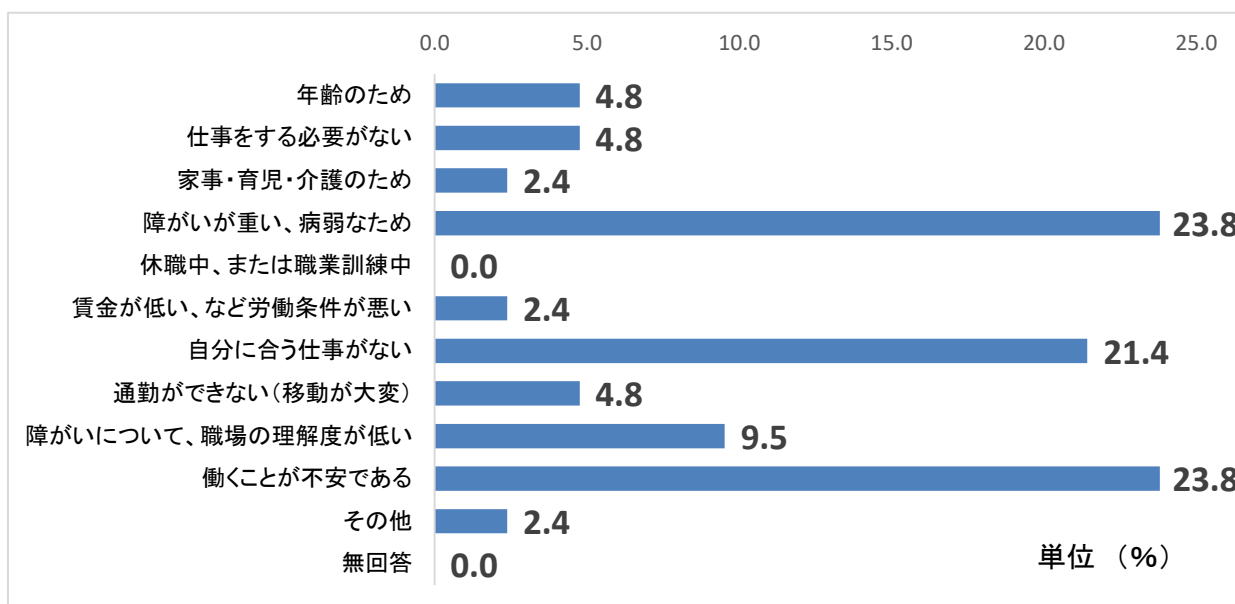
Q	25 あなたは、現在仕事をしていますか。 (○はひとつだけ)	件数	割合
1	している	45	70.3
2	していない	19	29.7
	無回答	0	0.0
	合計	64	100.0



26 問25で「1 している」と回答した方におたずね Q します。 あなたはどこで働いていますか。（○はひとつだけ）		件数	割合
1	会社などで正社員（一般雇用）として働いている	12	26.7
2	会社などで正社員（障がい者雇用）として働いている	8	17.8
3	会社などでアルバイト・パートとして働いてる	7	15.6
4	施設・作業所などで働いている（福祉的就労）	12	26.7
5	自営業者	6	13.3
6	内職・自営業のお手伝い	0	0.0
7	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	45	100.0



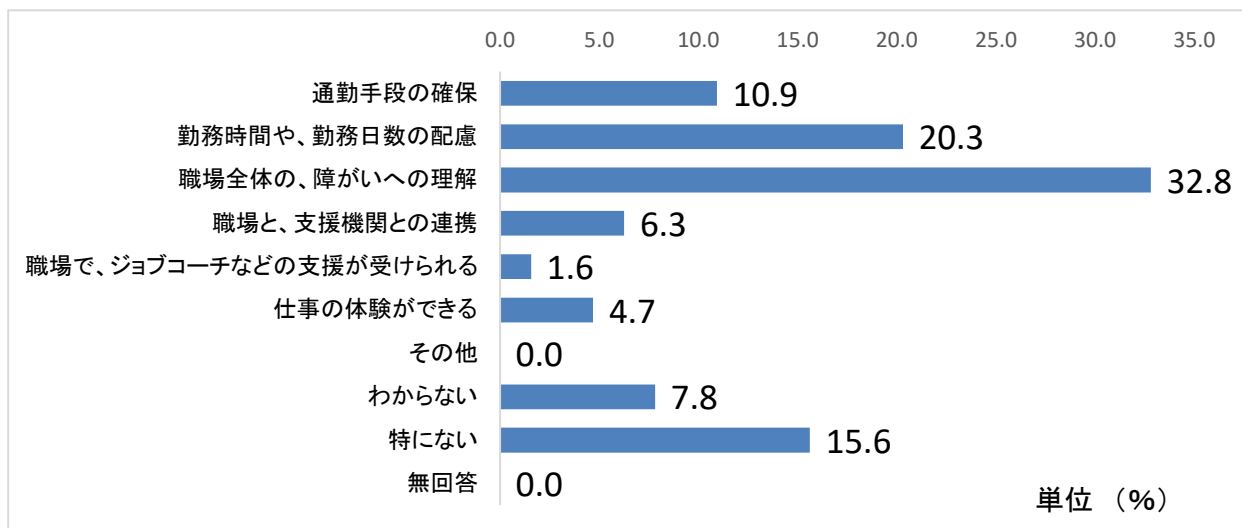
27問25で「2 していない」と回答した方におたずね Q します。 働いていない主な理由はなんですか。（〇は3つまで）		件数	割合
1	年齢のため	2	4.8
2	仕事をする必要がない	2	4.8
3	家事・育児・介護のため	1	2.4
4	障がい重い、病弱なため	10	23.8
5	休職中、または職業訓練中	0	0.0
6	賃金が低い、など労働条件が悪い	1	2.4
7	自分に合う仕事がない	9	21.4
8	通勤ができない（移動が大変）	2	4.8
9	障がいについて、職場の理解度が低い	4	9.5
10	働くことが不安である	10	23.8
11	その他	1	2.4
	無回答	0	0.0
	合計	42	100.0



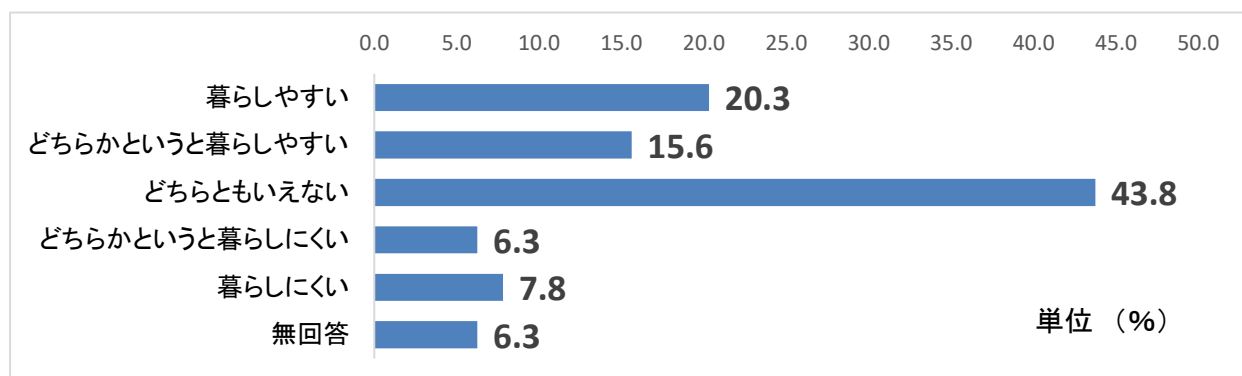
問27 その他

30代 男性『持病のため』

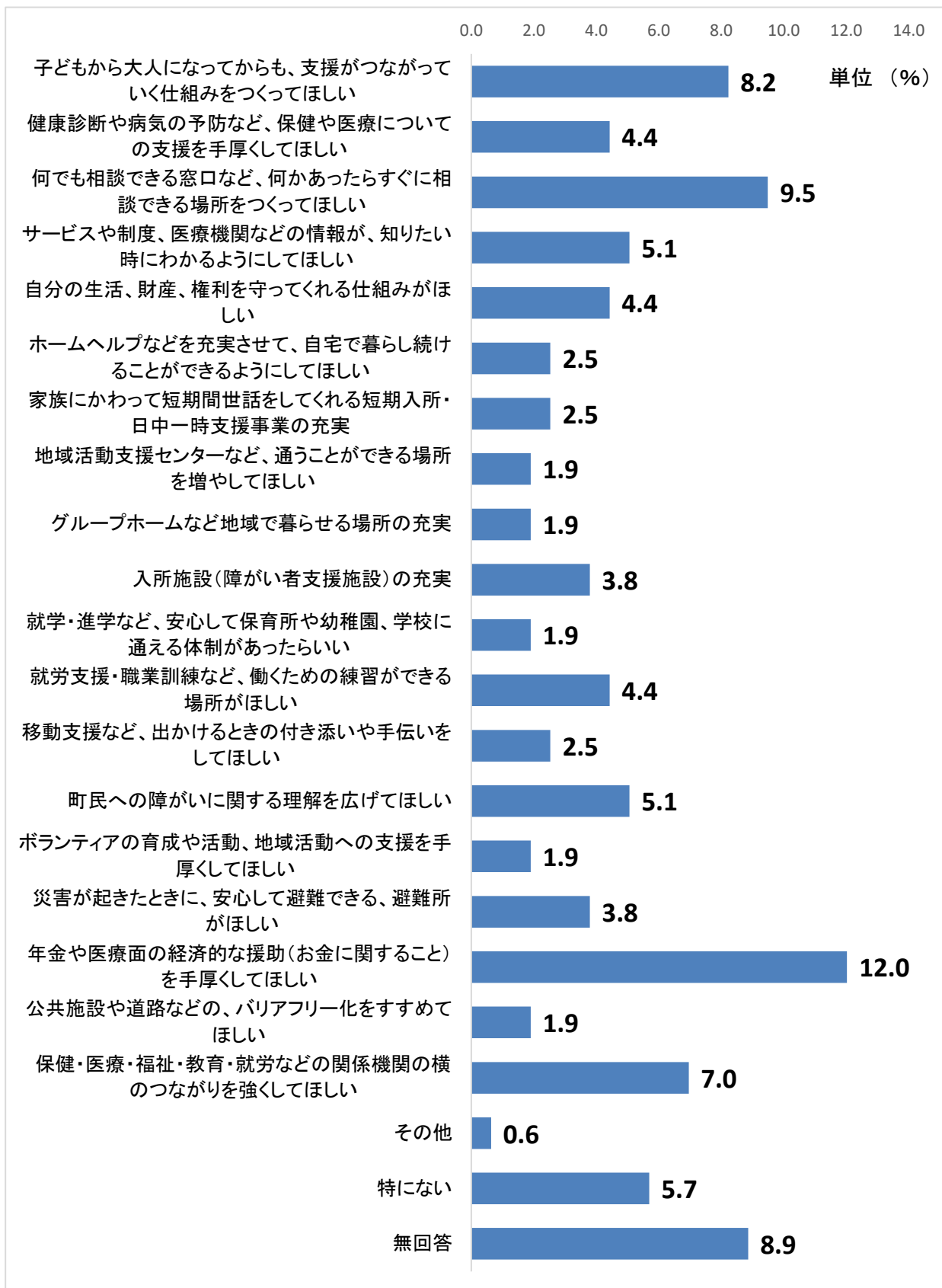
Q	28 あなたは、障がいのある人への就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)	件数	割合
1	通勤手段の確保	7	10.9
2	勤務時間や、勤務日数の配慮	13	20.3
3	職場全体の、障がいへの理解	21	32.8
4	職場と、支援機関との連携	4	6.3
5	職場で、ジョブコーチなどの支援が受けられる	1	1.6
6	仕事の体験ができる	3	4.7
7	その他	0	0.0
8	わからない	5	7.8
9	特にない	10	15.6
	無回答	0	0.0
	合計	64	100.0



Q	29 あなたは、清水町が障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(〇はひとつだけ)	件数	割合
1	暮らしやすい	13	20.3
2	どちらかという暮らしやすい	10	15.6
3	どちらともいえない	28	43.8
4	どちらかという暮らしにくい	4	6.3
5	暮らしにくい	5	7.8
	無回答	4	6.3
	合計	64	100.0



30 あなたは、障がいのある方に対する支援として、清水町に Q 「力をいれてほしい」と思うことは何ですか。 (○は3つまで)		件数	割合
1	子どもから大人になっても、支援がつながっていく仕組みをつくってほしい	13	8.2
2	健康診断や病気の予防など、保健や医療についての支援を手厚くしてほしい	7	4.4
3	何でも相談できる窓口など、何かあったらすぐに相談できる場所をつくってほしい	15	9.5
4	サービスや制度、医療機関などの情報が、知りたい時にわかるようにしてほしい	8	5.1
5	自分の生活、財産、権利を守ってくれる仕組みがほしい	7	4.4
6	ホームヘルプなどを充実させて、自宅で暮らし続けることができるようにしてほしい	4	2.5
7	家族にかわって短期間世話をしてくれる短期入所・日中一時支援事業の充実	4	2.5
8	地域活動支援センターなど、通うことができる場所を増やしてほしい	3	1.9
9	グループホームなど地域で暮らせる場所の充実	3	1.9
10	入所施設（障がい者支援施設）の充実	6	3.8
11	就学・進学など、安心して保育所や幼稚園、学校に通える体制があったらいい	3	1.9
12	就労支援・職業訓練など、働くための練習ができる場所がほしい	7	4.4
13	移動支援など、出かけるときの付き添いや手伝いをしてほしい	4	2.5
14	町民への障がいに関する理解を広げてほしい	8	5.1
15	ボランティアの育成や活動、地域活動への支援を手厚くしてほしい	3	1.9
16	災害が起きたときに、安心して避難できる、避難所がほしい	6	3.8
17	年金や医療面の経済的な援助（お金に関すること）を手厚くしてほしい	19	12.0
18	公共施設や道路などの、バリアフリー化をすすめてほしい	3	1.9
19	保健・医療・福祉・教育・就労などの関係機関の横のつながりを強くしてほしい	11	7.0
20	その他	1	0.6
21	特にない	9	5.7
	無回答	14	8.9
	合計	158	100.0



問30 その他

50代 男性『高齢になった家族にかわって、出かける時の手伝いがほしい』

31 障がい福祉について、あなたや家族が思っていることを自由にお書きください。
Q (自由回答)

30代 女性『清水町にも障がい者が働ける所が、もう少しほしい、と思います』

50代 男性『とにかく、人と関わるのが嫌だ』

30代 女性『「理解が得られない」「不安につけこまれる」そんな経験が何度もあり、何度も生きるのが苦しいと感じていました。

このような調査があって、動いてくださっている方がいると知れて、手帳（の取得）をもっと決めて動いてみて良かったなと思いました。いつもありがとうございます』

30代 男性『給付金の制度を増やしてほしい。障害者のための、医療関係のお金（医療費）を減らしてほしい』

40代 男性『障がい者でも、給料が高い職場があればいい』

30代 男性『両親が高齢となり親権者としての扶養が難しくなった場合、親代わりとなれる後見人を地域（西十勝）でサポートできる法人組織があれば良いと思います。※参考 中空知成年後見センター』

30代 女性『本人（障がい者）自身、障がい福祉の内容を知らない人が多いので、もう少しわかりやすい情報本みたいなのがあればいいです。

知らないで利用していないサービスもあつたりするので、障がい福祉の方が教えてあげたりする場があつても良いと思います』

40代 男性『親が死んだら、一人で生きていけないといけない。不安がある』

50代 男性『今は家族で暮らしているけれど、その後、家族がたよれなくなった時の必要なお金のことが、心配です』